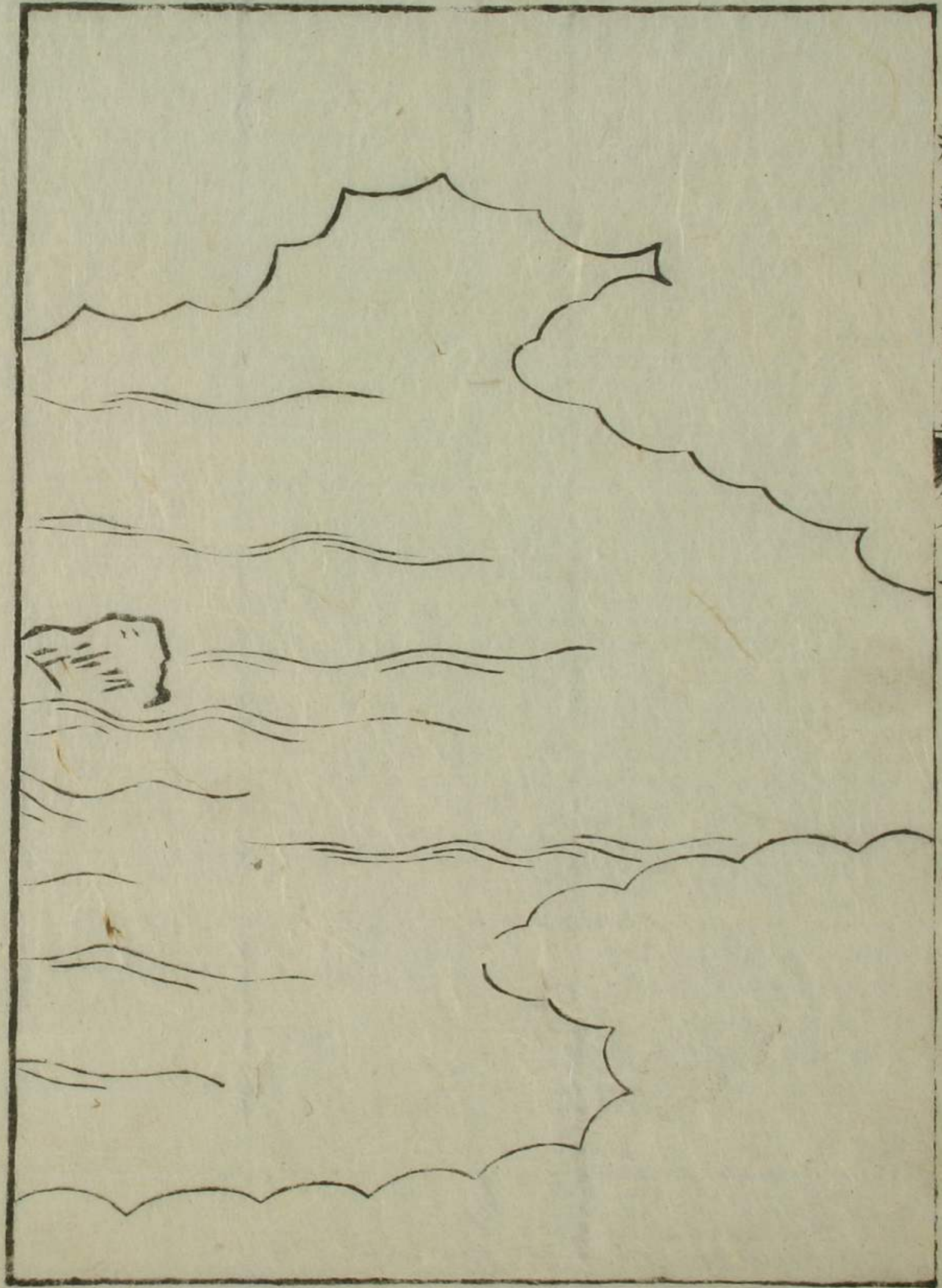
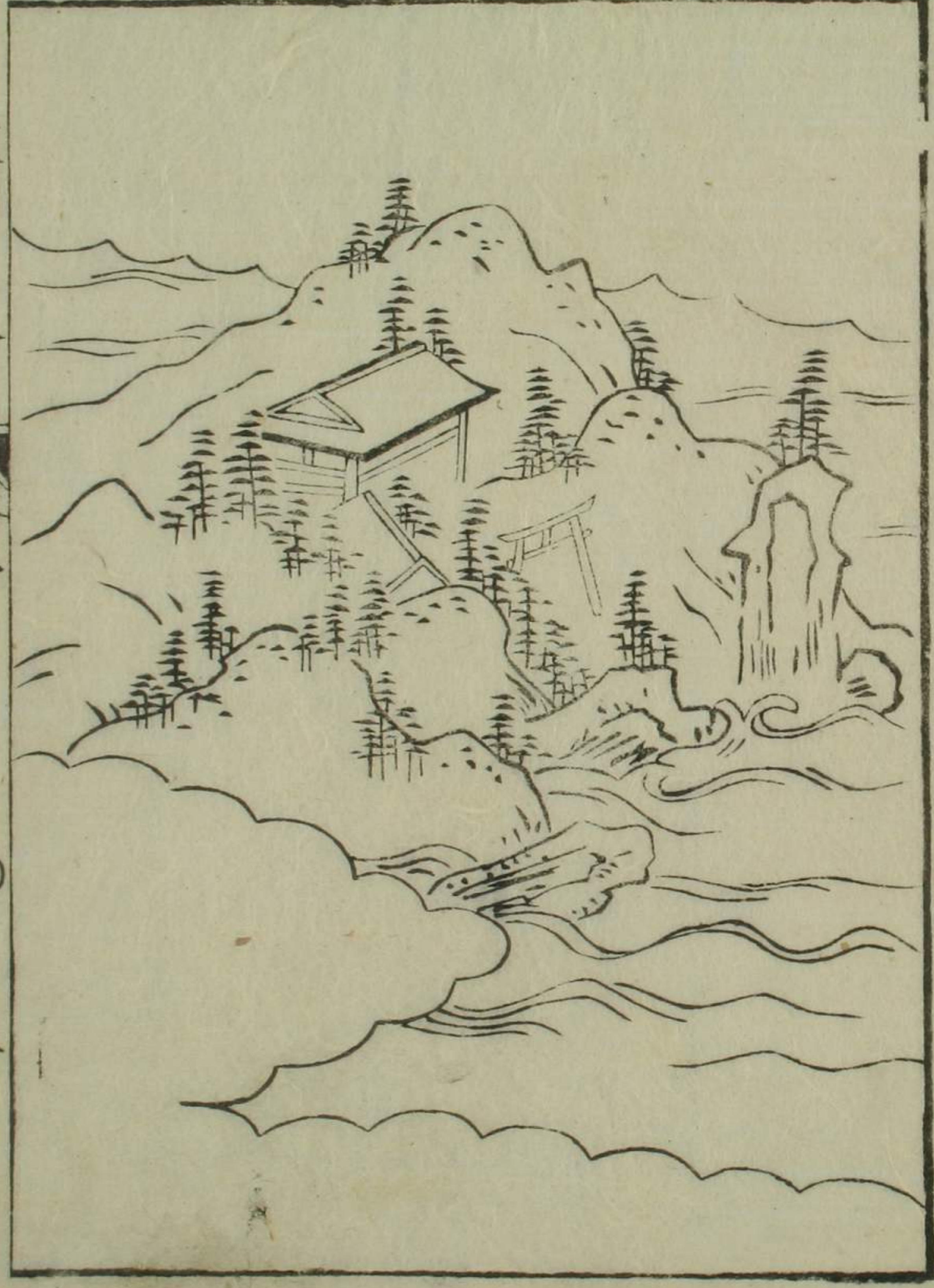




南七下白法義
下

13
2.006
5止



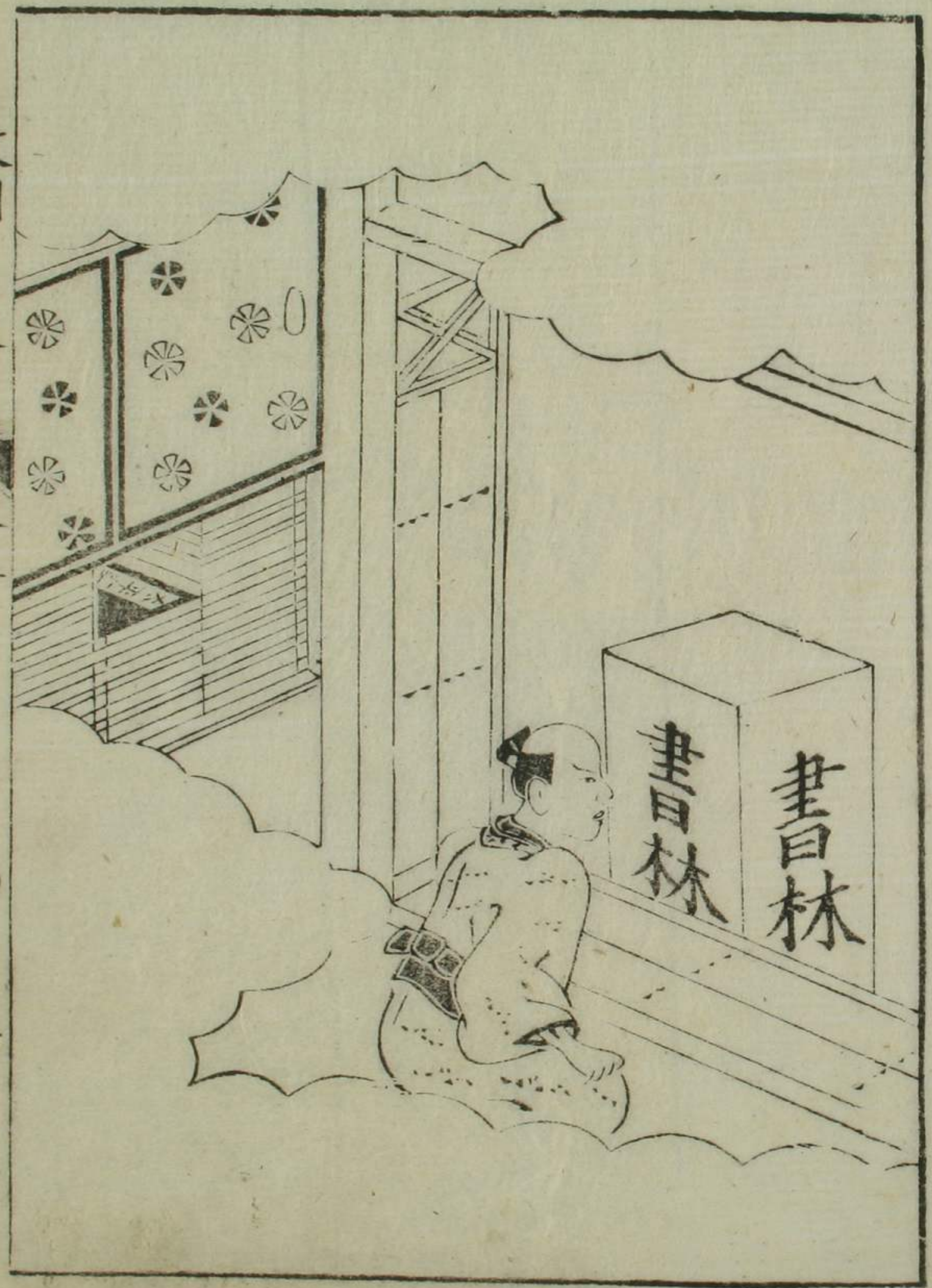


卷五

かぞ。古きを交遊世の河を中は色と水の西り侍る理。
 和しく教の優るふ恥ぢ。威あつて極ううま。凡目不玉
 中。何所の浦も清くても。婦人なく。門人河文々交孔門
 の類子曾子。秋氏の阿雅如葉のぶく。若祀礼儀
 めぐ。正風の一曲天地を動し。鬼神を感ぢしむ。弟世
 の末玉を。以一流ハ絶くぢ。瘡を止。常盤うま。人の
 ををばぐ。さむ。登ううむと。いと。想ぬ。ゆは。ゆは。好む不乃。
 文古。踏い。享保の始。たの病と。連き。や。身ま。世人の曾龍
 小通り。終。治。一。種。を。沈。病。と。ありぬ。併。ぢ。我。と。油
 び。あり。ま。と。ゆ。く。炭。銚。と。以。て。他。方。子。室。と。述。や。は。て。

今で後意。はる。後。我。と。く。ま。の。よ。ま。流。ふ。り。初
 て。あ。ま。の。く。く。く。ぬ。深。も。け。浅。前。理。り。能。あ。り。と
 才。一。と。ま。あ。ひ。小。ま。く。と。あ。ひ。風。俗。し。て。能。あ。り。く。才。も
 ね。は。く。あ。ま。り。あ。く。か。あ。く。ま。と。あ。ひ。好。感。あ。ま。り。服。指
 直。さ。し。こ。ぬ。も。折。さ。は。ら。ん。あ。り。ぢ。昔。の。地。の。あ。る。の
 女。房。才。が。好。感。を。あ。ま。り。も。や。大。作。小。奈。の。ま。り。も。持。た
 る。若。の。子。と。女。の。あ。り。ま。い。ら。ん。風。俗。を。さ。ま。り。好。感。を。あ。ま
 親。の。心。を。し。ら。り。ぬ。は。是。思。人。を。あ。ま。り。も。さ。ま。り。神。伴
 向。でも。氏。子。の。風。俗。あ。り。ま。い。ら。ん。風。の。神。さ。ま。り。ぬ。あ
 り。若。人。の。才。を。ま。り。け。は。は。の。ま。り。あ。り。ぬ。と。て。衣。被

文則下年言義 卷五



文
別
卷
五



考
言
下
年
言
義
卷
五

は降る理を神よめざる家には。不義殺傷の事ゆめし
にありん人。武士も所も。汝が事なば。疫病神同ふ。お
除ぐ家繁昌の基。さあ。こまがう。せう。己が。お。同。う。は。全
其のまも。ま。る。ま。ち。屋の内。ま。乃。成。人。の。娘。二。人。も。持。た。せ。女
を。産。む。と。せ。し。ハ。わ。ま。う。く。神。通。あ。く。ち。り。ぬ。我。け。ん。と。く
の大蛇を。は。ら。い。し。一。日。ふ。し。や。面。く。ひ。苦。お。れ。ま。は。夜
甲。り。し。て。み。ま。ら。う。句。く。は。我。神。託。と。う。く。ま。は。は。急。夜。を
を。お。り。ま。し。大。依。り。河。奈。う。ま。あ。ま。う。ふ。家。有。ま。う。一。は。は。も
ぬ。く。ハ。母。う。一。命。ま。う。む。り。ん。事。を。う。ら。ま。し。口。を。母。を。教
戒。さん。お。業。司。が。皮。肉。よ。ま。者。入。し。う。か。あ。い。ま。あ。ま。は。山。登

を。神。く。が。お。が。く。ま。む。は。け。ん。の。ま。や。内。海。で。あ。ひ。ま。を。一
日。も。祈。り。く。ま。ん。は。く。ま。く。と。神。ハ。あ。く。ま。を。給。ふ。と。見。く
て。法師。ハ。大。本。の。た。ね。を。う。ぶ。と。く。ぞ。う。と。お。し。ま。う。正。解。も
なく。又。言。罰。扱。も。く。地。を。治。し。い。神。と。く。ま。ま。や。あ。り。く。死
ぶ。し。と。を。ま。め。く。神。の。友。ま。ま。う。ま。ん。と。う。く。ま。る。あ。ふ。し
や。志。の。ま。の。馬。が。ま。ま。く。お。り。し。ま。う。せ。し。麻。呂。あ。り。ま。者。
か。さ。び。江。戸。へ。ま。う。の。古。他。の。古。紙。ま。ま。あ。ひ。し。と。感。せ
ぬ。者。ま。ま。な。う。り。り。ま。

通世下子續義卷五 大尾

尚世下手訣義 後編

全部六冊
如東

寶曆二 申正月吉辰

東都書林

大和田安兵衛

版

大坂屋又右衛門

正
子

